

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、前払費用、有価証券及び未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2. に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	89,880,210	91,481,378
未収入金	514,773	273,021
前払費用	595,797	544,875
有価証券	25,348,457	25,245,410
合 計	116,339,237	117,544,684
未払金	5,734,118	8,132,676
合 計	5,734,118	8,132,676
次期繰越収支差額	110,605,119	109,412,008

3. 科目間の流用及び予備費の使用について

(1) 科目間の流用

事業費支出のその他の事業費支出より1,000,000円を事業費支出の2号業務事業費支出に流用した。(注1)

(単位:円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
事業費支出 - その他の事業費支出	45,546,000	△ 1,000,000	44,546,000
事業費支出 - 2号業務事業費支出	76,050,000	1,000,000	77,050,000

管理費支出の業務研修費支出より31,000円を管理費支出の通信運搬費支出及び印刷製本費支出に流用した。(注2)

(単位:円)

科 目	当初予算額	科目間流用額	流用後予算額
管理費支出 - 業務研修費支出	638,000	△ 31,000	607,000
管理費支出 - 通信運搬費支出	162,000	10,000	172,000
管理費支出 - 印刷製本費支出	6,000	21,000	27,000

(2) 予備費の使用

予備費支出△1,508,000円は事業費支出の2号業務事業費支出及び管理費支出の会議費支出に充当使用し、当該予算科目の予算額に含めて表示している。(注3)

(単位:円)

科 目	当初予算額	予備費使用額	使用后予算額
事業費支出 - 2号業務事業費支出	77,050,000	1,500,000	78,550,000
管理費支出 - 会議費支出	0	8,000	8,000
予備費支出	10,460,000	△ 1,508,000	8,952,000

4. 収支計算書作成の基礎

本収支計算書は、使用済自動車の再資源化等に関する法律等に規定される目的により作成するものであり、したがって、それ以外の目的には適合しないことがある。

また、本収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)及び公益財団法人自動車リサイクル促進センターの会計規程(以下、「会計規程」という。)に準拠して作成している。当該会計規程においては、本財団における会計単位ごとに決算を行う旨(第4条)を規定している。